

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【公開番号】特開 2019-97860 (P2019-97860A)

【公開日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-024

【出願番号】特願 2017-231647 (P2017-231647)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 3 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 6

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 10 日 (2020.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有価情報記憶媒体に記憶された有価情報の読み取りおよび書き換えを行う媒体アクセス手段と、

相互に異なる複数の変換レートを備え、遊技者の操作によりいずれか一の変換レートを有効としてセットするレートセット手段と、

前記レートセット手段によりセットされた変換レートに従って、該有価情報を遊技球の持球数情報に変換する処理と該持球数情報を有価情報に変換する処理とを行う情報変換手段とを備えてなる有価情報ユニットに、相互通信可能に接続されるものであって、

遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入賞口とアウト口とを備えた遊技盤と、

該遊技領域へ遊技球を発射する発射装置と、

前記入賞口またはアウト口に入球した遊技球を回収して、前記発射装置へ再供給する球循環手段と、

特定の入賞口への遊技球の入球を契機として、所定の当選確率に従って当否抽選を行い、

該当否抽選の結果が当りの場合に、遊技者に所定の利得を供与する特別遊技を実行制御する主制御装置と、

前記有価情報ユニットから入力した前記持球数情報に基づいて、前記発射装置を作動制御する枠制御装置とを備え、機台の内部に封入された所定個数の遊技球を循環させる弾球遊技機において、

前記主制御装置と枠制御装置とは、該枠制御装置が主制御装置から情報を受信可能に、設けられてなり、

さらに、相互に異なる複数の前記当選確率を備え、管理者の操作によりいずれか一の当選確率を有効としてセットする確率セット手段と、

前記確率セット手段によりセットされた当選確率に係る指標報知を行う指標報知装置と

、

前記各変換レートに夫々対応付けられた相互に異なる指標発生内容を複数備え、前記有価情報ユニットから入力した変換レートに対応した指標発生内容に基づいて、前記指標報知を実行制御する指標報知制御手段とを備え、

指標発生内容は、複数の指標態様と、該指標態様の指標発生率とを含むものであって、各変換レートに夫々対応付けられた指標発生内容が、各指標発生内容の相互で異なる指標発生率を定めた指標態様を備え、

前記当選確率に応じて複数の指標態様のいずれかが出現率の高い指標態様として定められ、

少なくとも最も高い変換レートの指標発生内容は、最も低い変換レートの示唆発生内容よりも前記出現率の高い指標態様とその他の指標態様との出現率の差が大きいことを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

有価情報記憶媒体に記憶された有価情報の読み取りおよび書き換えを行う有価情報ユニットに、相互通信可能に接続されるものであって、

遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入賞口とアウト口とを備えた遊技盤と、

該遊技領域へ遊技球を発射する発射装置と、

前記入賞口またはアウト口に入球した遊技球を回収して、前記発射装置へ再供給する球循環手段と、

特定の入賞口への遊技球の入球を契機として、所定の当選確率に従って当否抽選を行い、該当否抽選の結果が当りの場合に、遊技者に所定の利得を供与する特別遊技を実行制御する主制御装置と、

前記有価情報ユニットから入力した有価情報を、所定の変換レートに従って遊技球の持球数情報に変換し、変換した持球数情報に基づいて、前記発射装置を作動制御する枠制御装置とを備え、機台の内部に封入された所定個数の遊技球を循環させる弾球遊技機において、

前記主制御装置と枠制御装置とは、該枠制御装置が主制御装置から情報を受信可能に、設けられてなり、

さらに、相互に異なる複数の前記当選確率を備え、管理者の操作によりいずれか一の当選確率を有効としてセットする確率セット手段と、

相互に異なる複数の前記変換レートを備え、遊技者の操作によりいずれか一の変換レートを有効としてセットするレートセット手段と、

前記確率セット手段によりセットされた当選確率に係る指標報知を行う指標報知装置と

、

前記各変換レートに夫々対応付けられた相互に異なる指標発生内容を複数備え、前記レートセット手段によりセットされた変換レートの指標発生内容に基づいて、前記指標報知を実行制御する指標報知制御手段とを備え、

指標発生内容は、複数の指標態様と、該指標態様の指標発生率とを含むものであって、各変換レートに夫々対応付けられた指標発生内容が、各指標発生内容の相互で異なる指標発生率を定めた指標態様を備え、

前記当選確率に応じて複数の指標態様のいずれかが出現率の高い指標態様として定められ、

少なくとも最も高い変換レートの指標発生内容は、最も低い変換レートの示唆発生内容よりも前記出現率の高い指標態様とその他の指標態様との出現率の差が大きいことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明の第一発明は、有価情報記憶媒体に記憶された有価情報の読み取りおよび書き換えを行う媒体アクセス手段と、相互に異なる複数の変換レートを備え、遊技者の操作によりいずれか一の変換レートを有効としてセットするレートセット手段と、前記レートセット手段によりセットされた変換レートに従って、該有価情報を遊技球の持球数情報に変換する処理と該持球数情報を有価情報に変換する処理とを行う情報変換手段とを備えてなる有価情報ユニットに、相互通信可能に接続されるものであって、遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入賞口とアウト口とを備えた遊技盤と、該遊技領域へ遊技球を発射する発射装置と、前記入賞口またはアウト口に入球した遊技球を回収して、前記発射装置へ再供給する球循環手段と、特定の入賞口への遊技球の入球を契機として、所定の当選確率に従って当否抽選を行い、該当否抽選の結果が当りの場合に、遊技者に所定の利得を供与する特別遊技を実行制御する主制御装置と、前記有価情報ユニットから入力した前記持球数情報に基づいて、前記発射装置を作動制御する枠制御装置とを備え、機台の内部に封入された所定個数の遊技球を循環させる弾球遊技機において、前記主制御装置と枠制御装置とは、該枠制御装置が主制御装置から情報を受信可能に、設けられてなり、さらに、相互に異なる複数の前記当選確率を備え、管理者の操作によりいずれか一の当選確率を有効としてセットする確率セット手段と、前記確率セット手段によりセットされた当選確率に係る指標報知を行う指標報知装置と、前記各変換レートに夫々対応付けられた相互に異なる指標発生内容を複数備え、前記有価情報ユニットから入力した変換レートに対応した指標発生内容に基づいて、前記指標報知を実行制御する指標報知制御手段とを備え、指標発生内容は、複数の指標態様と、該指標態様の指標発生率とを含むものであって、各変換レートに夫々対応付けられた指標発生内容が、各指標発生内容の相互で異なる指標発生率を定めた指標態様を備え、前記当選確率に応じて複数の指標態様のいずれかが出現率の高い指標態様として定められ、少なくとも最も高い変換レートの指標発生内容は、最も低い変換レートの示唆発生内容よりも前記出現率の高い指標態様とその他の指標態様との出現率の差が大きいことを特徴とする弾球遊技機である。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 8 】

ここで、「有価情報記憶媒体」は、有価情報を記憶（書き換え可能）できる媒体であればよく、例えば、ＩＣカード、ディスク、携帯端末等が適用できる。「有価情報」は、遊技に用いる持球数情報に変換できる価値を有する情報であればよく、例えば、投入金額を示す金額情報、該投入金額に対応した度数を示す度数情報などが適用できる。「変換レート」は、有価情報と持球数情報とを変換する割合であり、具体的には、遊技球の１球当りの有価価値で表される。例えば、１球／４円（４パチ）や１球／１円（１パチ）などが適用され得る。「有価情報ユニット」は、有価情報記憶媒体の有価情報を読み取りおよび書き換え可能であればよく、金銭を投入可能であり且つ投入された金銭を有価情報に変換する機能を備えていてもよいし、該機能を備えていなくともよい。

また、「入賞口」は、遊技球の入球を契機として特別図柄や普通図柄の当否抽選を行う所謂始動口、遊技球の入球を契機として所定数の賞球を発生させる所謂一般入賞口などを示す。そして、「特定の入賞口」には、前記始動口が好適である。

「特別遊技」は、例えば、大入賞口を開閉させる大当たり遊技や小当たり遊技、普通電動役物を作動させる遊技などが好適である。

「特別遊技による利得」は、賞球のように直接的な利益に限らず、特別な遊技状態（例えば、大当たり確率が高確率になる確率変動状態、特別図柄や普通図柄の変動時間が短縮される時短状態など）に移行することや、特別な演出（例えば、通常では表示されないレア演出画像など）を行うことであっても良い。

「遊技の進行及び／又は遊技の結果に影響を及ぼす情報」（特定情報）は、例えば、大当り情報（特別遊技の情報）、当選確率、当否抽選の結果情報などが適用され得る。

「管理者」は、当該弾球遊技機が設置された遊技施設の経営者や店長だけでなく、該遊技施設の従業員や、試験的に該弾球遊技機を稼働させる者も含まれる。

「指標報知装置」は、演出表示装置により報知用の図柄を表示するもの、スピーカにより報知用の音声を発生するもの、ランプにより報知用の光を発生するもののいずれであっても良いし、さらには、これらのなかの複数を備えたものであっても良い。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

一方、本発明の第二発明は、有価情報記憶媒体に記憶された有価情報の読み取りおよび書き換えを行う有価情報ユニットに、相互通信可能に接続されるものであって、遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入賞口とアウト口とを備えた遊技盤と、該遊技領域へ遊技球を発射する発射装置と、前記入賞口またはアウト口に入球した遊技球を回収して、前記発射装置へ再供給する球循環手段と、特定の入賞口への遊技球の入球を契機として、所定の当選確率に従って当否抽選を行い、該当否抽選の結果が当りの場合に、遊技者に所定の利得を供与する特別遊技を実行制御する主制御装置と、前記有価情報ユニットから入力した有価情報を、所定の変換レートに従って遊技球の持球数情報に変換し、変換した持球数情報に基づいて、前記発射装置を作動制御する枠制御装置とを備え、機台の内部に封入された所定個数の遊技球を循環させる弾球遊技機において、前記主制御装置と枠制御装置とは、該枠制御装置が主制御装置から情報を受信可能に、設けられてなり、さらに、相互に異なる複数の前記当選確率を備え、管理者の操作によりいずれか一の当選確率を有効としてセットする確率セット手段と、相互に異なる複数の前記変換レートを備え、遊技者の操作によりいずれか一の変換レートを有効としてセットするレートセット手段と、前記確率セット手段によりセットされた当選確率に係る指標報知を行う指標報知装置と、前記各変換レートに夫々対応付けられた相互に異なる指標発生内容を複数備え、前記レートセット手段によりセットされた変換レートの指標発生内容に基づいて、前記指標報知を実行制御する指標報知制御手段とを備え、指標発生内容は、複数の指標態様と、該指標態様の指標発生率とを含むものであって、各変換レートに夫々対応付けられた指標発生内容が、各指標発生内容の相互で異なる指標発生率を定めた指標態様を備え、前記当選確率に応じて複数の指標態様のいずれかが出現率の高い指標態様として定められ、少なくとも最も高い変換レートの指標発生内容は、最も低い変換レートの示唆発生内容よりも前記出現率の高い指標態様とその他の指標態様との出現率の差が大きいことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】